

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ



ダイバーシティの真ん中で

鹿児島県観光・文化スポーツ部国際交流課 本田 雅美

色鮮やかに蘇るのは、クレアに派遣された3年間です。仕事のピンチも達成感も、苦楽のすべてが胸の奥で輝く想い出になっています。帰国のカウントダウンが近づくにつれ、1日1日が惜しいほど濃密でエキサイティングな日々でした。優秀な同僚と一緒に仕事をさせていただき、考え方や前向きに仕事に取り組む姿勢など、多くの刺激を受けました。今でも仕事で行き詰まったとき、奮い起こさせてくれるのは、クレアで奮闘した日々であり、仲間との思い出です。

シンガポール赴任1年目は、主に、予算や契約関係など、内部管理の仕事に携わりました。事務所移転の検討段階で現地不動産会社との協議や英文の契約書をチェックしたり、当時まだ小切手を使用していた経理事務にオンライン決済を導入したり、業務改善にも取り組みました。忘れられないのは、次年度派遣予定職員のビザ申請を担当していた際、渡星直前にビザがリジェクトされるという事態に直面したことです。あの時は食事も喉を通らないほど緊張感と責任感に苛まれ、過去最大の仕事のピンチに陥りました。年々、外国人のビザ認可が厳しくなっているシンガポールですが、所内で協議し、職員の安全な渡星のため、あらゆるシミュレーションを行いました。相手は外国政府、日本のように情や融通は効かず、明確なりジェクト理由も示されないまま、再申請して許可される確証もありません。日本国大使館にも協力を仰ぎ、シンガポール人材省ヘレターを送って協議し再申請の結果、渡星の1日前に無事ビザを取得できました。一気に緊張感から解放されたと同時に、尽力いただいた大使館の方や上司、現地調査員とのチームワークで、ピンチを乗り越えられたことに感謝の思いがあふれました。

その他、シンガポール国内では、歴史的な米朝首脳会談が開催された年でもありました。全世界が注目する国の威信をかけた厳戒態勢の中で、世界史が紡がれる瞬間に現地にいたことは印象深い出来事でした。

赴任2年目は、旅行博や専門家派遣事業の担当として、所管国を飛び回り、旅行も含めると20か国くらい訪問しました。クレアレポート執筆の際は、海外自治体幹部交流セミナーで対応したインドネシアやタイ政府の職員が取材先を紹介してくれ、現地で再会を果たせました。



ナショナルデーパレード



チンゲイパレードでリー・シェンロン首相と

プライベートでは県人会の先輩や現地の友人に恵まれ、現地の友人に誘ってもらい、建国記念日のナショナルデーパレードと、県の活動支援でチンゲイパレードに出演したことも忘れられない思い出です。

当時のテーマは We are Singapore。国籍も言語も宗教も多様な人々がシンガポールという国を作っているというテーマの下、フィナーレで共に歌ったとき、日本人として参加できた感動で胸が一杯になりました。

帰国して4年弱経ちます。国際線のアウトバウンド促進や社会福祉の業務に携わった後、現在は多文化共生の業務を担当しています。多民族国家のシンガポールにおいて、ダイバーシティ（多様性）の渦の中で過ごした経験を活かし、在住外国人の方々が住みやすい街になるよう、現在の業務に力を尽くしたいと思います。

プロフィール・ほか

- クレア在籍時の所属：
2017年4月～2018年3月 交流支援部交流親善課
2018年4月～2020年3月 シンガポール事務所